

平成28年7月22日

千葉市長 熊谷俊人様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長 横山清亮

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

平成28年4月7日付け28千市総第3号で諮問のありました標記の件について、別紙のスポーツ部会からの報告のとおり答申します。



平成28年7月22日

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長 横山清亮 様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
スポーツ部会
部会長 横山清亮

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

平成28年4月7日付け28千市総第3号で、千葉市長から諮問のあった標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり議決したので報告します。

記

- 1 指定管理者の行った施設の管理に係る評価（平成27年度分）について
（議決日 平成28年7月22日）
 - (1) 千葉市大宮スポーツ広場について
 - ア 限られた資源の中で適切に運営していると評価できる。
 - イ 多目的広場は、駐車場として利用するなど、新たな活用方法について検討されたい。
 - ウ 利用状況を踏まえ、若年層へ積極的にアピールすることなどにより新たな利用者を獲得し、施設利用の向上に努められたい。
 - エ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、前年度と比べて変化は見られず、委託料の中で適切に運営されており、倒産・撤退等のリスクはないと判断される。
 - (2) 千葉市宮崎スポーツ広場について
 - ア 限られた資源の中で適切に運営していると評価できる。
 - イ 利用状況を踏まえ、若年層へ積極的にアピールすることなどにより、新たな利用者を獲得し、施設利用の向上に努められたい。
 - ウ アンケート内容について、利用状況を的確に把握するため、年代別、男女別の項目を設けるなど、工夫されたい。
 - エ 利用状況を踏まえ、新規利用者の獲得に向けた新たな方策を検討されたい。
 - オ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況は概ね良好で、委託料の中で適切に運営されており、倒産・撤退等のリスクはないと判断される。
 - (3) 千葉ポートアリーナについて
 - ア 利用者数が増加するなど、指定管理者の努力については評価できる。
 - イ 障害者スポーツ推進のため、アンケートについて、施設の利用申込者だけでなく、大会に参加する障害者も対象とするなど、アンケート方法を工夫されたい。
 - ウ 障害者スポーツの利用にあたっては、利用料金の減免などによる収支への影響等を踏まえ、市と指定管理者の連携内容について十分に検討されたい。

- エ 自主事業の魅力向上にあたり、事業内容の充実や見直しを検討されたい。
- オ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、事業収益や正味財産が多少減少しているものの、十分な資産があり、大きな影響はないことから、倒産・撤退等のリスクはないと判断される。

(4) 千葉アイススケート場について

- ア 計画額について、サービス内容を見直しした場合には、計画額の内容を適切に反映するよう努められたい。
- イ スケート教室に関する意見などのアンケート内容を踏まえ、利用者ニーズを把握・分析し、事業内容の充実に努められたい。
- ウ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、自己資本比率が高く、売上も増加していることから、長期的に見ても安定しており、倒産・撤退等のリスクはないと判断される。

(5) 千葉市民ゴルフ場について

- ア 自主事業による収入増や管理費の節減などにより収支が黒字に転換するなど、指定管理者の努力については評価できる。次年度以降も良好な施設運営となるよう努められたい。
- イ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、一部不安定な要素があるものの、事業継続が直ちに困難になるとは考えにくく、倒産・撤退等のリスクはないと判断される。
- ウ 指定管理者である千葉市民ゴルフ振興共同企業体を構成する法人の一事について、財務内容に改善傾向はみられるものの、流動比率など不安定な要素があることから引き続き注視が必要である。